

臨床薬理センター

1. スタッフ（2018年4月1日現在）

センター長（兼）（教 授） 今井 靖
 室 長 （講 師） 牛島健太郎
 医 員（兼）（学内准教授） 相澤 健一
 （准 教 授） 星出 聡
 （助 教） 今井 利美

2. 臨床薬理センターの特徴

臨床薬理センター薬物治療支援室は平成13年4月から専任医員1名および兼任医員4名（医学部薬理学講座臨床薬理学部門）で活動を開始し、臨床薬理学的知識に基づいた適正な薬物療法について臨床各科からのコンサルテーションを受け、これに対し助言・支援を行っている。主な内容は以下のものである。

- 1) 臓器移植後の免疫抑制薬に関する治療薬物モニタリング（TDM）および内科診療科横断的な助言・支援
- 2) 妊婦・授乳婦に対する薬物療法の提供
- 3) 薬を使用した臨床研究計画申請書の事前審査
- 4) 治験申請案件の事前審査

施設認定

臨床薬理学講座として日本臨床薬理学会専門医制度研修施設が認定されている

認定医・認定薬剤師

日本内科学会総合内科専門医
 今井 靖、星出 聡、今井 利美 3名
 日本内科学会認定内科医
 今井 靖、相澤 健一
 星出 聡、今井 利美 4名
 日本循環器学会循環器専門医
 今井 靖、星出 聡 2名
 日本腎臓専門医 今井 利美
 日本透析医学会透析専門医 今井 利美
 日本高血圧専門医 星出 聡
 日本不整脈心電学会不整脈専門医 今井 靖
 日本人類遺伝学会臨床遺伝専門医 今井 靖
 日本臨床薬理学会指導薬剤師 牛島健太郎

3. 実績・クリニカルインディケーター

- 1) 臓器移植後の免疫抑制薬に関するTDM
 生体肝移植患者に対する免疫抑制薬のTDMコンサルテーション、また臓器障害合併例についての内科的管理について助言を行った 30症例 320件

- 2) 妊婦・授乳婦に対する薬物情報の提供
 産婦人科および精神科からの妊産婦・授乳婦へのコンサルテーションに助言を行った 32症例 63薬
- 3) 薬を用いた臨床研究計画書申請の事前審査
 附属病院研究倫理審査委員会申請書のうち、薬物に関連する臨床研究申請書の事前審査を実施した10件
- 4) 治験申請案件の事前審査
 本院で行われる治験のヒアリングに参加し臨床薬理学的立場から治験依頼者に対する質問等を行ったプロトコール 32件

4. 2018年の目標・事業計画等

院内の薬物療法の適正化のために適切な助言を行うとともに診療科横断的な薬物療法支援を実施する。また適切な薬物療法に関する初期研修医・若手医師向けの教育プログラム構築に取り組みとともに、入院症例のみならず外来診療における臨床薬理に関するコンサルテーション体制を強化する。